

平成 29 年(2017 年) 9 月 8 日

報 道 機 関 各 位

彦根市教育委員会事務局文化財部
彦根城博物館 学芸史料課
担当：青木 俊郎
(電話 0749-22-6100)

2017 年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展
戦国！井伊直虎から直政への開催について

このたび、みだしの展覧会を下記により開催しますのでお知らせします。

記

1 名 称

2017 年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展
戦国！井伊直虎から直政へ

2 主催・協賛・特別協力

主催 彦根城博物館、NHK天津放送局、NHKプラネット近畿
協賛 日本写真印刷、ハウス食品グループ、ロート製薬
特別協力 浜松市博物館

3 会期

平成 29 年(2017 年)10 月 21 日 (土) ～11 月 28 日 (火) <39 日間>会期中無休
午前 8 時 30 分～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

4 会場

彦根城博物館 展示室 1～6 (滋賀県彦根市金亀町 1 番 1 号)

※本展は、3 会場巡回展の 3 会場目です。

【東京展】会期：2017 年 7 月 4 日 (火) ～8 月 6 日 (日) <30 日間>
会場：東京都江戸東京博物館 (東京都墨田区)

【静岡展】会期：2017 年 8 月 14 日 (月) ～10 月 12 日 (木) <52 日間>
会場：静岡県立美術館 (静岡県静岡市駿河区)

5 展示の趣旨

2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送にあわせて、大河ドラマの登場人物に関連した資料や文化財を通じ、主人公ゆかりの地の歴史や文化を紹介する標記の展覧会を開催します。

戦国時代、男の名で家督を継いだ、「おんな城主」井伊直虎の波瀾に満ちた生涯を軸に、駿河の今川、甲斐の武田、尾張の織田、そして三河の徳川と大国に囲まれた遠江の領主・井伊氏が、繰り返される謀略や戦いの中でどのように乱世を生き延びたのか、同時代に生きた戦国武将や周辺の人物を通して浮き彫りにします。

また、直虎に養育され、徳川家康の家臣となった井伊直政は、小牧・長久手の戦いや関ヶ原の戦いなどで武功をあげ、のちに「徳川四天王」と称されるほど、家康の天下統一事業に重要な役割を果たしました。直政の彦根藩井伊家創設に至る道程を、井伊家に受け継がれた貴重な美術品・古文書などから紹介します。

6 展示構成

1章 動乱を超えて ～東海の戦国大名と井伊氏～

遠江国井伊谷^{いいのや}の領主であった井伊氏は、生き残りを賭けて、今川や武田など周辺の戦国大名と対峙しました。

永禄3年(1560)に、井伊氏存亡危機のきっかけとなった桶狭間の戦いが起こります。本章では、桶狭間の戦いまでに至る、周辺の戦国大名の動向などを、武具や古文書などから紹介します。

2章 遠江の雄^{いいのや} ～井伊谷の領主として～

知られざる遠江の雄「井伊氏」のルーツと、戦国時代に井伊谷を本拠とする井伊氏が今川家の家臣となる過程を、次郎法師の曾祖父・直平、祖父・直宗、父・直盛やその周辺人物ゆかりの工芸や古文書などから紹介します。

3章 徳川家康と四天王

井伊直政の主君となる徳川家康は、桶狭間の戦いで今川家から独立を果たすと、織田信長と同盟を結び、今川家や武田家など周辺の戦国大名との戦いを経て、三河など五カ国を領する一大勢力となりました。

豊臣秀吉が政権を握ると、その中でも有力な大名として位置づけられたのです。家康が飛躍した背景には、自身の才覚だけではなく、徳川四天王と称された酒井忠次・本多忠勝・榊原康政・井伊直政をはじめとする有能な家臣の存在が大きく影響しました。本章では、直政が仕えた家康や同僚であった徳川四天王など家臣のゆかりの品々を紹介します。

4章 遠江から近江へ ～直政、彦根藩創設への道程～

徳川家康に仕官した井伊直政は、家康の命により、旧武田家の家臣を付属され、朱色の装備で統一された赤備え部隊を率いました。赤備えを率いた直政は、小牧・長久手の戦いや関ヶ原の戦いなどで武功をあげ、のちに「開国の元勳」と称されるほど、家康の天下統一事業に重要な役割を果たしたのです。

本章では、直政が彦根藩井伊家創設に至る道程を、井伊家伝来の武具・古文書などから紹介します。

7 展示作品

別添リストの109件

8 観覧料

| | 個人 | 団体 (30名以上) | 団体 (100名以上) | 団体 (300名以上) |
|-------|------|---------------|----------------|----------------|
| 一般 | 500円 | 450円 | 400円 | 350円 |
| 小・中学生 | 250円 | 170円 | 145円 | 120円 |

※チケットには、開国記念館の入場券も含まれています。

※チケットの前売り券はありません。

※彦根城、玄宮園との記念共通券も販売しています。

9 関連事業

(1) ギャラリートーク

開催日 平成29年(2017年)10月21日(土)

1回目：午前11時から11時30分

2回目：午後2時から2時30分 ※1回目・2回目とも同内容

会場 彦根城博物館 展示室1～6

担当 青木俊郎(当館学芸員)

その他 特別展の観覧料が必要です。申込不要(直接会場にお越しください)

(2) 特別展シンポジウム「井伊直虎から直政へ ～遠江・近江の視点から～」

井伊直虎・直政の事跡とともに、遠江国から近江国へとたどり着いた井伊家の軌跡について紹介します。

開催日 平成29年(2017年)10月28日(土) 13時30分～15時50分

会場 彦根城博物館能舞台正面見所

講師 久野正博氏くのまさひろ(浜松市博物館学芸員)、青木俊郎(当館学芸員)

受講料 300円

※事前申し込みが必要です。

10 音声ガイドについて

特別展で展示される貴重な歴史資料について、音声ガイドで解説を聞きながら観覧していただけます。

ナビゲーター 小林 薫

所要時間 約30分

価格 520円(お一人様1台につき)

11 図録について

名称 展覧会限定公式図録

価格 2,200円(税込)

内容 東京・静岡・彦根で開催される『2017年NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展戦国！井伊直虎から直政へ』の展覧会限定公式図録です。

彦根城博物館では、特別展会期中に館内ミュージアムショップで販売します。

1 2 特設ホームページについて

当展覧会専用のホームページを開設します。

URL <http://hikone-castle-museum.jp/naotora>

公開日 平成 29 年(2017 年) 9 月 11 日(月)

1 3 報道関係者内覧会について

日時(予定) 10 月 20 日(金) 午後 2 時～

会場 彦根城博物館

※詳細は後日お知らせします。

写真解説

1 井伊直虎・関口氏経連署状【展示作品リスト 56】

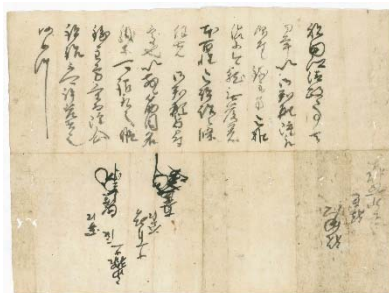
浜松市指定文化財 永禄11年(1568)11月9日

紙本墨書 1通 縦29.0cm 横39.0cm

浜松・蜂前神社(浜松市博物館保管)

直虎の名と花押が見られる唯一の古文書である。名は祐筆が書いたと思われるが、花押は本人である可能性が高い。永禄11年11月に、直虎は今川氏真の家臣関口氏経と連署で祝田郷に対し徳政令を発することとなった。本来は永禄9年(1566)に今川氏により発令された徳政であったが、銭主と呼ばれる高利貸しや、井伊氏一門の抵抗により徳政が実現されなかった。そこで直虎は永禄11年に徳政を実施した。

※展示期間：10月21日～11月9日(11月10日～11月28日は複製を展示)



2 青葉の笛【展示作品リスト 67】

浜松市指定文化財 戦国時代

竹製漆塗 1本 長33.0cm 径1.9cm

浜松・寺野六所神社

亀之丞(のちの井伊直親)は、天文13年(1544)に父直満が謀反の疑いで今川義元に殺された。その後、亀之丞の身にも危険が及んだことから逃亡し、信濃国伊那郡市田松源寺で過ごした。弘治元年(1555)に亀之丞は井伊谷へ帰国して直盛の養子となった。帰国の途中、渋川寺野の六所神社に横笛を奉納した。この横笛は、竹を縦に11に割り、再び接合して漆が塗られている。



3 井伊直親木像【展示作品リスト 68】

江戸時代

木造著色 1 軀 像高 40.0 cm 幅 48.0 cm

井伊谷・龍潭寺

「井伊家伝記」によれば、永禄5年（1562）、小野但馬守の訴えにより今川氏真に謀反の疑いを掛けられた直親は、弁明のため駿府に向かう。その途中、遠江国掛川城下にて今川氏家臣朝比奈泰朝の襲撃に遭い討ち死にした。直親の遺体は、祝田の都田川で荼毘に付された。この像は、死んだ直親の菩提を弔うため祝田郷に建てられた大藤寺に納められていたものである。大藤寺が廃寺ののち、龍潭寺へ納められた。

※展示期間： 11月10日～11月28日



4 孔雀尾具足陣羽織【展示作品リスト 162】 ※彦根会場でのみの展示作品

長岡市指定文化財 桃山時代

1 領 丈 83.0 cm 肩幅 58.0 cm

新潟・長岡市与板歴史民俗資料館

直政が徳川家康から拝領した陣羽織。孔雀の尾羽を全面に縫い付けた貴重な品である。天正10年（1582）の本能寺の変後、堺にいた家康が、伊賀・伊勢を抜けて三河へ帰国できたのは直政の功によるものとして、この陣羽織を与えた。この陣羽織は、直政の嫡男・井伊直継家（のち与板藩井伊家）に伝来したものである。



- 5 しゅうるしぬりほとけにまいどうぐそく 朱漆塗 仏二枚胴具足【展示作品リスト 180】 ※彦根会場のみ
の展示作品
滋賀県指定有形文化財 桃山時代 16世紀
1領 胴高 37.0 cm
彦根城博物館（井伊家伝来資料）

軍装を赤で統一した「井伊の赤備え」に則した甲冑。彦根藩井伊家初代の直政が、関ヶ原の戦いで着用したと伝える。兜は鉄板を数枚組み合わせた頭形（ずなり）兜、胴は鉄板の表面を漆で滑らかに仕上げた仏胴を用いたシンプルな作りとする。本作の鉄板はいずれも厚く、重量は27キロを超す。腕を動かしやすくするため、袖と籠手とが一体化した毘沙門籠手を採り入れるなど、機能性を重視した実戦向きの1領である。

